

湘南大庭地区 郷土づくり推進会議

2018～2019年度活動報告

2020年2月 地域づくり推進チーム

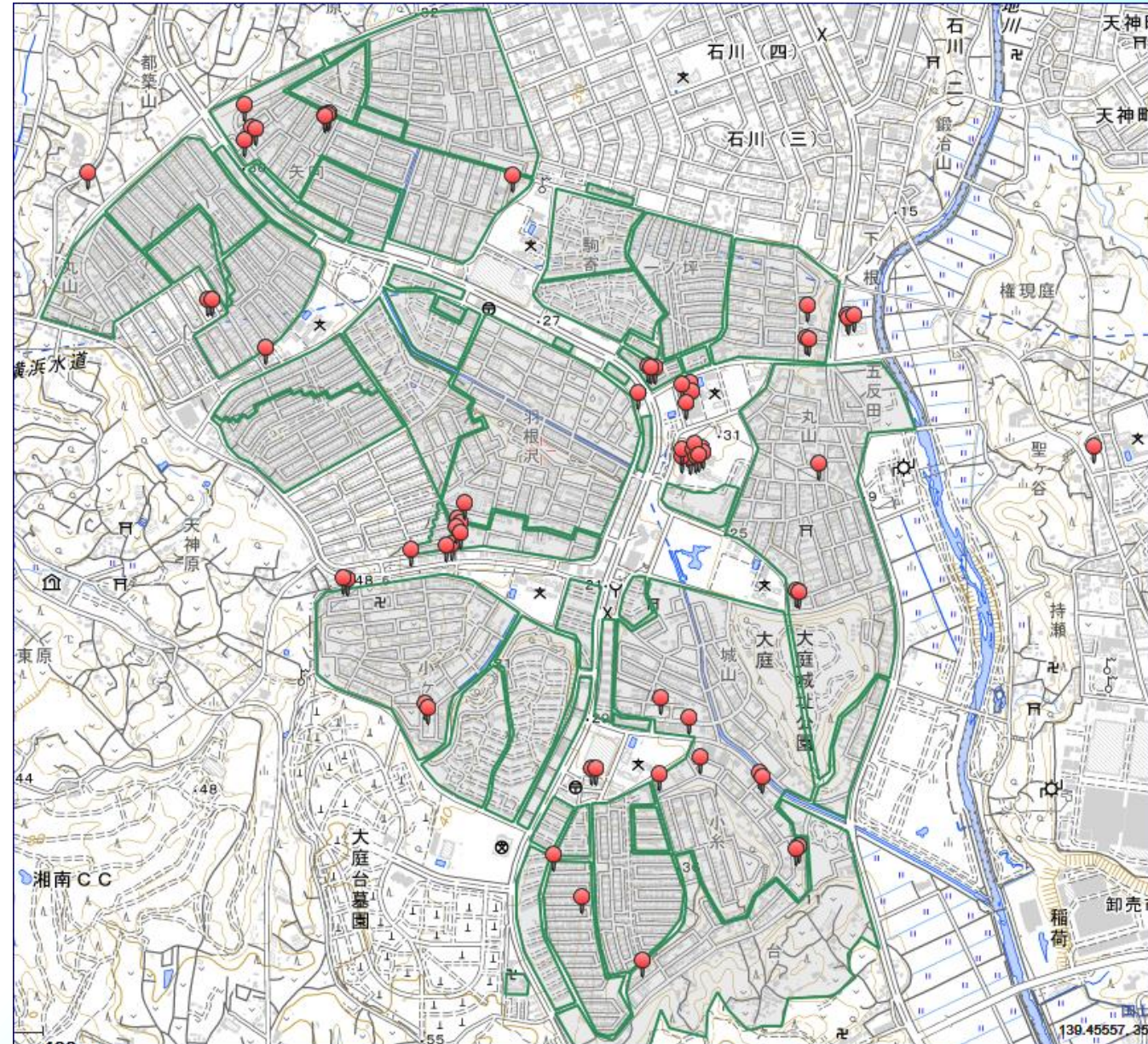
2019年度の取り組みとして

- ①湘南大庭地区の現状と課題についての調査・研究。
- ②他の地域団体や地区内の学校や公共機関・近隣大学と連携し、地域課題解決のための各種事業を行う。
- ③超少子高齢社会、まちの老朽化への対応を図るため、勉強会・研修会を開催する。
- ④継続して、互助の仕組みである地域福祉協力員の募集、アプリ等の検討などにも取り組んでいきたい。

2019年度の取り組み①

湘南大庭地区 (高齢者向け)
事業所マップの作成

居宅介護支援(事業所)	12
在宅訪問・在宅通所	31
施設入所介護	20
小規模多機能	3



2019年度の取り組み②

慶應義塾大学SFC 秋山美紀研究会 との連携

「慶應×活性×湘南大庭」をテーマに活動

- ・情報共有チーム 地域情報の活用・共有(ポータルサイト等)
- ・イベントチーム イベントを通じた世代間交流(健幸カルタ)
- ・つなぐチーム SFCと湘南大庭を繋ぐサイトの開設



2019年度の取り組み②

慶應義塾大学SFC 秋山美紀研究会 との連携

湘南大庭ふるさとまつりに初参加

■ 健幸カルタのブースを開催



■ ポータルサイトの愛称決めコンテスト



2019年度の取り組み③

- 2019年8月31日(土)湘南大庭市民センター
"住みたい・住み続けたいまち湘南大庭"「知っておきたい介護の事」
講師：阿部充宏 氏を迎え実施



2019年度の取り組み④

湘南大庭地区 郷土づくり推進会議

「高齢化対策グループ」は2017年2月・2018年2月

全体会議で次の3項目を各自治会・町内会へ導入を呼びかけた。

1.孤独死・急病・大怪我発生など異変発生時に早期発見できる

「一人暮らし高齢者安否確認」しくみの導入

2.高齢者の孤立防止上

「住民同士のふれあう機会」の実施

3.高齢者の見守り活動推進と身近な高齢者相談相手として

「地域福祉協力員」の設置

2019年度の取り組み④

地域福祉協力員の現状報告

●設立当初 6名

● 2020年1月末時点 7名

・この2年間、地域の自治会・町内会其々の取り組みの違いもあり、継続は困難。

しかし、近隣住民通しの互助、共助の関係づくりは、必要。

2020年度第5期新メンバーによる郷土づくり推進会議がスタート

2019年度の取り組み④

アプリ等の検討

2019年度、新たなアプリの情報は得られなかったが、自治会・町内会独自に調査・導入に向けた動きを確認。

アプリ利用可能な環境や目的(防災・みまもり)

- 誰が必要としているのか?
- 誰が利用するのか
- 完全な一致が難しい。
- 高齢者、幼児、小学生
- 見守る側(20代～60代)
- 完全な一致をしなくても良い